

見附市定住促進・健幸住宅取得判定基準 評価基準

評価項目ごとに評価基準を設定しており、評価基準は「CASBEE戸建(新築)評価マニュアル(2014年版)の評価レベルを用いて判定します。

なお、CASBEE戸建(新築)における評価レベルについては、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(IBEK)のホームページより評価マニュアル(2014年版)を参照し判定してください。

評価項目(項目番号)	評価基準 (CASBEE戸建(新築)における評価レベル)
<input type="checkbox"/> 1. 断熱等性能の確保(QH1.1.1) 暑さ・寒さに関する快適性を確保する建物の基本性能を、外界との熱の出入りを抑制する機能で評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 2. 日射の調整機能(QH1.1.2) 開口部における、夏の日射遮蔽と冬の日射取得を両立させる取組みを日射侵入率で評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 3. 風を取り込み、熱気を逃がす(QH1.2.1) 屋外の風を室内に取込む工夫、室内に溜まった熱気を室外に排出する工夫を評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 4. 適切な冷房計画(QH1.2.2) 主要な居室で適切な冷房計画が行われているかを評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 5. 適切な暖房計画(QH1.3.1) 主要な居室で適切な暖房計画が行われているかを評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 6. 化学汚染物質の対策(QH1.2.1) 化学汚染物質による室内空気質汚染を回避するための対策が十分にとられているかを評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 7. 適切な換気計画(QH1.2.2) 室内で発生する汚染物質が、換気等の方法により適切に処理されるよう計画されていることを評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 8. 犯罪に備える(QH1.2.3) 開口部の侵入防止対策を評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 9. 災害に備える(QH1.2.4) 災害発生時の室内における安全性確保と、災害発生後に一時的な自立が可能となる取組みを評価する。	レベル4を満たす。

<input type="checkbox"/> 10. 昼光の利用(QH1.3.1) 外の明るさを室内に取込むための建物上の工夫を、窓の開口率、方位、昼光利用設備の有無により評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 11. 静かさ(QH1.4) 室内における静かさの確保を、屋外から侵入する騒音などに対する遮音性能により評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 12. 躯体(QH2.1.1) 躯体の長寿命に対する基本性能を、構造躯体等に使用する材料の交換等、大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長するために必要な対策の程度により評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 13. 外壁材(QH2.1.2) 外壁材の長寿命に対する基本性能を、その耐用年数と更新性で評価する	レベル3を満たす。
<input type="checkbox"/> 14. 屋根材、陸屋根(QH2.1.3) 屋根材及び陸屋根の部材及び防水材を評価対象とし、その耐用年数と更新性で評価する	レベル3を満たす。
<input type="checkbox"/> 15. 自然災害に耐える(QH2.1.4) 自然災害に耐える建物の強さを、地震に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさにより評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 16. 火災の早期感知(QH2.1.5.2) 住戸内で発生した火災の早期感知のしやすさを、警報装置の性能や設置場所で評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 17. 維持管理のしやすさ(QH2.2.1) 住宅の給排水管・ガス管・電気配線の維持管理のしやすさを、交換の容易性等で評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 18. 維持管理の計画・体制(QH2.2.2) 住宅の長寿命化に効果的に機能する、竣工後の維持管理に関する取組みを評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 19. 広さと間取り(QH2.3.1) 適切な住宅の広さおよび基本的機能が確保されることを評価する	レベル4を満たす。 (入居者数4人の基準で評価すること)

<input type="checkbox"/> 20. バリアフリー対応(QH2.3.2) 居住者の加齢による身体機能低下に対応する取組みを評価する	レベル3を満たす。
<input type="checkbox"/> 21. 敷地内の緑化(QH3.2.1) 敷地内の緑化を、外構面積に対する緑化面積の比率で評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 22. 地域の安全・安心(QH3.3) 周辺地域の防災性・防犯性を向上させるための対策について評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 23. 躯体と設備による省エネ(LRH1.1.1) 家電・調理を除く一次エネルギー消費量の削減割合を、H25年省エネ基準の計算方法に基づき評価する。	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 24. 家電・厨房機器による省エネ(LRH1.1.2) 家電・厨房機器によるエネルギー消費量の削減対策を評価する。	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 25. 節水型設備(LRH1.2.1) 節水型設備による上水消費量の削減対策を評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 26. 雨水の利用(LRH1.2.2) 雨水等利用による上水消費量の削減対策を評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 27. 住まい方の提示(LRH1.3.1) 省エネルギーに資する住まい方を推進する情報が、住まい手に提示されていることを評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 28. エネルギーの管理と制御(LRH1.3.2) エネルギーの管理と制御によるエネルギー消費量の削減対策を評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 29. 内装材(LRH2.1.4) 内装材における省資源に役立つ材料(リサイクル材、再生可能材料、植物由来の自然素材)および廃棄物抑制に役立つ材料(リサイクル可能な材料)の採用を評価する	レベル4を満たす。

<input type="checkbox"/> 30. 外構材(LRH2.1.5) 外構における省資源に役立つ材料(リサイクル材、再生可能材料)の採用を評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 31. 使用材料の情報提供(LRH2.3.1) 住宅に使用されている材料のリサイクルや廃棄に対する情報提供の有無について評価する	レベル5を満たす。
<input type="checkbox"/> 32. 地域インフラの負荷抑制(LRH3.2.1) 居住時に発生する地域インフラへの負荷を抑制するための対策を評価する	レベル4を満たす。
<input type="checkbox"/> 33. 騒音・振動・排気・排熱の低減(LRH3.3.1) 敷地内から発生する騒音・振動、排気・排熱などにより隣接する住宅等に与える影響を低減する屋外設置の設備機器に対する取組みを評価する	レベル4を満たす。

<input type="checkbox"/> 門灯または玄関灯の設置 「一戸一灯運動」の実施により、夜間に各家庭の門灯や玄関灯を点灯してもらうことで、まちを明るくし、夜間の犯罪防止を目的とする	・電球色は「電球色、又は、白色系のもの」 ・門灯等は、外壁や天井、地盤等へ固定されるもの ・門灯等は、原則常時点灯できるもの(人感センサーと切替可能なものでも可)
---	---